

日経誌

兵庫県

2022年4月～6月

4/6 日本酒文化紹介施設 東灘区で相次ぎ開館

菊正宗酒造は、日本酒の歴史と酒器をテーマにした見学施設「盃展示館」を同社敷地内にオープンした。また4月29日には、剣菱酒造の酒蔵を改装した「灘五郷酒所」が営業を始めた。「灘五郷」のすべての蔵元（26蔵）の日本酒（約40種）や旬の食材を使った料理が楽しめる。

4/7 県内の倒産、前年度比25%減313件

帝国データバンク神戸支店がまとめた21年度の県内の企業倒産件数は、313件（前年度比25・1%減）で過去10年間で最少だった。負債総額は、241億6200万円（同59・4%減）で2年ぶりに前年度を下回った。

4/25 医療産業都市 経済効果1562億円

神戸市は、ポートアイランドの医療産業都市が20年度の地域経済に与えた経済効果を1562億円と推計した。5年前の推計と

4/26 脱炭素先行地域に兵庫県3件

環境省は、脱炭素化に取り組み「脱炭素先行地域」の第1弾となる26件を発表し、兵庫県からは姫路市、尼崎市、淡路市の3市の提案が選ばれた。脱炭素先行地域とは政府目標の2050年に先駆けて30年度までの脱炭素化を目指す地域である。

5/27 県内の工場立地件数48件 全国6位

兵庫県は、21年中の県内工場立地件数が前年比9件増の48件で、全国6位だったと発表した。地域別では北播磨が13件で最も多く、中播磨が9件と続く。立地面積は2・5ha増の50・8haで全国9位であった。

5/30 スパコン「富岳」2部門5期連続世界一

理化学研究所はスーパーコンピュータ「富岳」が計算性能の世界ランキングの2部門（ビッグデータを扱うグラフ解析など）で5期連続で1位になったと発表した。計算速度など2部門は米国の「フロンティア」に次いで2位だった。

5/30 県の待機児童312人 4年連続減

兵庫県が発表した県内の待機児童数（4月1日現在、速報値）は、312人（前年比457人減）で4年連続の減少となった。

市町別では、神戸市など7市が新たに解消され、28市町が待機児童ゼロとなった。残る13市町のうち9市町で待機児童数が1桁となっている。

6/3 兵庫県 合計特殊出生率1・36

厚生労働省は、21年の出生数が過去最少の81万1604人となり、合計特殊出生率は1・30に低下したと発表した。都道府県別にみると最高は沖縄県の1・80、最低は東京都の1・08となっており、兵庫県は1・36で前年比0・03ポイント低下した。

6/13 県内景況 2四半期ぶりに改善

神戸財務事務所の4～6月期の兵庫県内法人企業景気予測調査によると、全産業の景況判断指数（BSI）は前期比9・3ポイント改善し▲8・9となった。新型コロナウイルス対策の行動制限が緩和されたことを受け、非製造業が大幅に改善（18・8ポイント）したことが寄与した。

6/16 神戸港 5月の輸出入 単月過去最高

神戸税関が発表した5月の神戸港貿易概況（速報）によると、輸出入総額は9631億円（前年同月比35・5%増）だった。エネルギー価格の高騰や円安の影響で輸入が大きく膨らみ、比較可能な1979年以降で5月としては過去最高額を更新した。